



## 猛暑のなか核兵器廃絶を市民にアピール

### 19日 県庁—市役所コース

行進4日目は県庁を出発し、岡山市役所を終点とする市内行進です。午前9時半からの出発集会では県佐藤学事課長が「核兵器のない平和な世界を願っています」と挨拶。岡山市原爆被爆者会平末会長は、「命のある限り核兵器廃絶をがんばっていきたい」と行進団に激励の挨拶を述べられました。

午前10時県庁前を出発した170名の行進は表町商店街、中筋商店街、奉還町商店街を行進しました。表町・中筋商店街では『平和七夕かざり』のたくさんの折鶴の下を元気よく歩きました。

オルガホールの「被爆体験を聞くつどい」では県被爆者会土屋圭示副会長の被爆体験を聞きました。



### 黒い雨で体を洗った

17歳のとき被爆され、8月6日の午後から被爆者の死体処理などの業務にあたり、「黒い雨ではふんどし1つで体を洗った」など衝撃的なお話に参加者一同ことばを失いました。



岡山市・東山の慰霊碑前で

## 元気にあるいています。



### 23回目の県内通し

「今年で23回目の行進です。運動が若い人にしっかりと引き継がれるといいですね」と話していました。知る人ぞ知る『影の県内通し行進者』森山真沙美さん(勤労者山岳会・労山)です。

### 大阪からきました。

「視覚障害者大阪9条の会」のぼり旗を持って歩く阿部正文(41歳)さん。障害者は戦時中は「穀つぶし」「非国民」と言われ排除された。戦争は障害者を大量に作るもの。戦争は絶対に反対です。の気持ちをこめて歩いています。



西大寺に慰霊碑前で

## 原爆慰霊碑に誓う

7月18日行進の始まる前、全国・県通し行進者は西大寺の原爆慰霊碑に献花し核兵器廃絶を誓いました。

午後には行進団一同、恒例の東山で岡山市原爆死者の慰霊碑に焼香し、核兵器廃絶の誓いを固めました。